



関西製作者のモチベーションの向上を図り、若い製作者が夢と誇りを持てる場を提供する事を目的として2013年に創設された「ATP上方番組大賞」。

栄えあるグランプリ、最優秀新人賞は、2021年1月26日(火)にオンラインで発表、表彰しました。

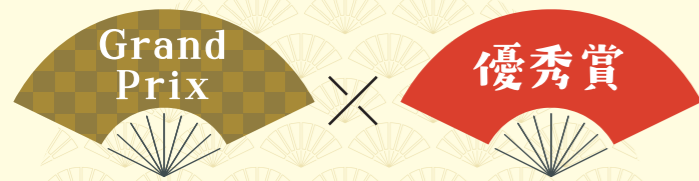
2021年1月26日

主催：一般社団法人 全日本テレビ番組製作社連盟

後援：大阪府／大阪市／公益財団法人 関西・大阪21世紀協会

助成：公益信託高橋信三記念放送文化振興基金

ATP



ちょこっと京都に住んでみた。

制作会社：松竹撮影所 放送局：テレビ大阪(テレビ東京系列6局ネット)
プロデューサー 清水 啓太郎(松竹撮影所)
監督 吉見 拓真

番組概要

“観光地に一切行かない京都案内”、“住んでいる人しか知らない京都”をテーマに、ドキュメンタリーテイストを盛り込んだドラマです。テレビ東京系列のドラマ初出演の木村文乃と、京都で生まれ育った演技派、近藤正臣の共演をお届けします。



※敬称略。

©テレビ大阪



受賞者コメント

長い間、京都の町家に住んできた。今は東京なので家の窓外を眺めては「ああ、この季節、あれが食べたい」「あのお祭りが始まったからあれが食べたい」とばかり思う。今回、観光地が一切出てこない京都の企画を面白がってもらい、少人数のスタッフが色々なパートを掛け持ちながら出来た作品が評価され皆様に感謝しかありません。京都の街並みもこれからも少しずつ変わっていくと思いますが、記憶と記録として長く見ていただきたい。

松竹撮影所/プロデューサー 清水 啓太郎

審査講評

京都で暮らす人の息使いがドラマと融合され、作り手の世界観が見事に表現されています。「こんなやり方もあったのか」とチャレンジ精神あふれる番組であると共に、綿密な取材と人間関係の構築がにじみ出る秀作です。

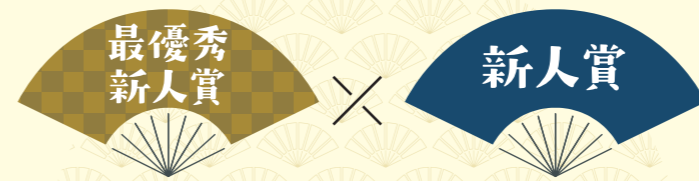
グランプリ投票参加大学から

「ドラマらしくないドラマで、ありのままの京都の姿にほっこりとした気持ちになった。人や生活にフォーカスされていて、大叔父(近藤正臣)の言葉が心にしみた。」

「コロナ禍の今見ると何気ない日常が余計に尊く思える。」

「音や挿入歌が美しく、風景とマッチしていて癒される作品。日常に聞こえる音や静寂も、意識してみると美しい音色だと気付いた。挿入歌で心地よかったのは“Les Couleurs de l'Automne”。急にフランス語が聞こえて驚きましたが、違和感なく京都の雰囲気とマッチしていた。」

「京都といえば派手な観光地のイメージを抱かれがちだと思うが、この映像は地元色を強く出しつつ素朴な感じを出していることにすごく好感を持った。ドラマ仕立てで終始親しみを持って和やかに楽しんで見ることができた。観光映像の新しい形として評価できる。」



桑名 幸平(ダイメディア)

キボウノウタ～新型コロナと闘ったライブハウスの200日～

放送局：テレビ大阪
プロデューサー 徳地 英孝(テレビ大阪)
ディレクター 桑名 幸平(ダイメディア)



受賞者コメント

私が取材したのはクラスターが発生した大阪のライブハウスです。クラスターが発生して店名公表を選んだライブハウスは、誹謗中傷を受けて営業を自粛することになりました。中でも音楽文化を残したいと奮闘する姿を見て少しでも多くの方に知って頂きたいという思いでドキュメンタリー番組にしました。今後ともこの賞に恥じないような番組作りを精を出したいと思います。この度は誠にありがとうございました。

ダイメディア/ディレクター 桑名 幸平

審査講評

コロナ禍に起きたドキュメンタリーとして秀逸な作品です。今後、音楽や芸術の発表の場はどう対応していかなければならないのか考えさせられるとともに、こんな状況でも希望をつないでいく歌の力を感じる番組でした。



番組概要

大阪・西天満のライブハウスでは、今年2月、新型コロナウイルスのクラスターが発生。府の要請を受け実名を公表したこともあり全国にその名前が広まることに。そんな中、再開に向けて模索するライブハウスの姿を追った。

優秀賞

たとえるバラエティ クイズ! 鼻からスイカ

製作会社:レジスタエックスワン 放送局:讀賣テレビ

プロデューサー 中埜 勝之(讀賣テレビ)
演出 辻 あゆみ(レジスタエックスワン)



番組概要

物事をわかりやすく説明するために人類が編み出した知恵、“たとえ”。そんな世の中に数多ある“たとえ”をクイズ形式で学ぶ知的好奇心探求番組。

受賞者コメント

この度は、上方番組大賞に選んでいただきありがとうございます。番組作りにかかわった全てのスタッフに感謝し、この喜びを分かち合いたいと思います。次はグランプリを目指します!

レジスタエックスワン/演出 辻 あゆみ

審査講評

出産の例え話をきっかけに、誰かが発した機智ある一言が、多くの人の共感を生む面白さやその過程が丹念に掘り起こされています。日常の潤いから世界各国の国民性まで、言葉の豊かさや広がりを感じる秀作です。

シークレットゲームショー オフィスで極秘ミッション!全てクリアで100万円GETなるか!?

製作会社:イー・ビー・シー リブラ 放送局:朝日放送テレビ

プロデューサー 桑山 哲治(朝日放送テレビ) ディレクター 土居長 慶宗(朝日放送テレビ)
春名 雄児(イー・ビー・シー リブラ) 吉村 鉄平(イー・ビー・シー リブラ)



番組概要

一般社会に生きる人々の“日常”に、突然“非日常”を与えたらどんなことが起こるのか?そんな疑問を解き明かすが、ゲームマスター陣内孝則が贈る“究極のモニタリングショー”『THE SECRET GAME SHOW』だ!

受賞者コメント

このような栄誉ある賞を頂き光栄に思います。日常のオフィスを豪華なセットでモニタリングするというスリリングな収録でした。特殊な撮影に協力して頂いた企業様、誠に有難うございました。

イー・ビー・シー リブラ/演出 吉村 鉄平

審査講評

職場を隠しカメラでウオッチしながら遠隔で無理難題を遂行させるという奇抜な設定ですが、そこに職場の人間関係が垣間見られます。リモート勤務が求められる今、人の触れ合いについて思いを巡らせる番組です。

オンライン表彰式ダイジェスト

第8回ATP上方番組大賞 受賞式は、新型コロナウイルスの影響を受け中止といたしましたが、1月26日に、受賞者の皆さまに集まっていたが、オンラインでグランプリと最優秀新人賞の発表を行いました。



森田ATP理事・関西センター長が新人賞の表彰状を読み上げます。



緊張の面持ちで発表を待つ新人賞受賞者。



最優秀新人賞受賞、おめでとうございます!

奨励賞

ますおか引越センター

製作会社:ytv Nextry 放送局:讀賣テレビ

プロデューサー 新穂 英樹(ytv Nextry)
監督 小野 謙馬(ytv Nextry)



番組概要

「引っ越しの数だけドラマがある」を合言葉に、ますだおかだの世の中の引っ越しをお手伝い。誰もが経験する“引っ越し”という舞台で、新たな人生への第一歩を後押しするドキュメントバラエティ。

受賞者コメント

もともと、ますだおかだ・増田さんが7年ほど前から温めていた企画。芸人ならではの目線で、「引っ越し」という切り口から素人さんの魅力を引き出した、関西らしい番組になったのではないかと考えています。

ytv Nextry/演出 小野 謙馬

審査講評

引越という誰もが経験する出来事を通し、そこに生じる人間模様を丹念に捉え深掘しています。住居が変わることで生活も自分自身も変わっていく登場人物たちに感情移入し思わず引き込まれていく番組です。

新日本風土記 道頓堀界わい

製作会社:ダイメディア 放送局:NHK BSプレミアム

プロデューサー 河野 純基(ダイメディア) ディレクター 柳 翔太郎(ダイメディア)
柳田 真顕(NHKエンタープライズ) 松岡 梓(ダイメディア)



番組概要

道頓堀。観光客にも人気の“食い倒れの街”は、新型コロナで大打撃。街で生きる人たちは危機を乗り越えようと新たな一歩を踏み出そうとしていた。コロナに揺れる夏の道頓堀界わいに行く。

受賞者コメント

1回目の緊急事態宣言から再び休業要請が出るまでの1ヶ月、道頓堀が希望を持って立ち上がる姿を追い追いました。新型コロナになり、状況の深刻さは数字でしか出てこないことが増えましたが、その数字の中で、もがきながらも明るく生きる人の姿を見て頂けたらと思います。

ダイメディア/ディレクター 柳 翔太郎

審査講評

2020年夏、指定自粛区域となった道頓堀に入り込み、そこで営まれる暮らしに寄り添った番組です。飲食店や音楽家などコロナで悪戦苦闘する人たちの言葉の一つ一つからなにわ商人の気概が滲み出ている秀作です。

新人賞

長瀧 大市(クリエイティブ・ジョーズ)

探偵!ナイトスクープ 「ウォシュレットで手を洗い!? 編」

放送局:朝日放送テレビ

プロデューサー 近藤 真広(朝日放送テレビ)
奥田 智(朝日放送テレビ)

ディレクター 長瀧 大市(クリエイティブ・ジョーズ)



©ABCテレビ 探偵!ナイトスクープ

番組概要

複雑に入り組んだ現代社会に鋭いメスを入れ、さまざまな謎や疑問を徹底的に究明する『探偵!ナイトスクープ』。視聴者から寄せられた、ウォシュレットで手を洗いたいという依頼に対して、澤部 佑探偵が徹底的に追求する。

受賞者コメント

この度は、新人賞という栄えある賞を頂戴し、光栄に思います。100字では到底表せない感謝はあえて割愛させていただき、今後もより面白い作品を作れるよう、邁進する所存でございます。何卒、よろしくお願い致します。

クリエイティブ・ジョーズ/
ディレクター 長瀧 大市

審査講評

今や伝統芸とも言える素朴な疑問への解決法!少し回り道して、楽しく、且つ興味深く演出されていたと思います。関西ならではの依頼者のノリもよく、これぞナイトスクープ!爆笑できた秀作です。



広部 裕子(ブリッジ)

ミント! 「ナゼトキ」大みそかの夜にナゼ夜行バスに乗るの?

放送局:毎日放送

プロデューサー 岡端 正芳(毎日放送)
ディレクター 広部 裕子(ブリッジ)



番組概要

このコーナーでは、意外と知らない関西人の「ナゼ?」をズバッと解明!みなさんのギモンを徹底調査していきます!2019年の大みそか、大阪駅バスターミナルに密着し、様々な理由で夜行バスに乗る人々の話を聞きます。

受賞者コメント

さまざまな人の人生に触れることができ、この仕事の魅力を再認識した大晦日の夜でした。またプロデューサーはじめ、日頃から自分のVTRに対する意見を真摯に伝えて下さった番組の先輩方に、心から感謝を伝えたいです。

ブリッジ/ディレクター 広部 裕子

審査講評

何故を解き明かすコーナーで何故と思った着眼点の良さと粘り強い取材で、大晦日深夜にバスに乗る人の人間模様が見えた秀作です。ディレクターの人当たりの良さが、突然の取材に快く応じてくれた要因だと思います。



飯坂 仁美(MBS企画)

せやねん! 「せやねん!スポーツ」

桜宮高校ボート部 恩師と挑む最後の大会

放送局:毎日放送

プロデューサー 長富 剛(毎日放送)
和田 祐介(毎日放送)

ディレクター 飯坂 仁美(MBS企画)



番組概要

新型コロナウイルスの影響で中止となったインターハイの代わりに行われた全国高等学校ボート選手権特別大会で、日本一を目指す女子高生に密着。高校3年生が青春をかけて挑む最後の大会の結末は。

受賞者コメント

想い入れのあるボート競技の企画でこのような素晴らしい賞を頂くことができ大変嬉しく思います。未熟者ですが多くの方々に助けを頂いたおかげでこの作品を作ることが出来ました。本当にありがとうございました。

MBS企画/ディレクター 飯坂 仁美

審査講評

新型コロナの影響で高校生たちの部活動の成果を示す場が失われた2020年。そんな中で女子ボート部の学生の苦悩、インターハイに変わる大会を学生のために作り上げた先生の努力がとてもしっかり描けた秀作です。



第8回 ATP上方番組大賞

総評



新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、開催が危ぶまれた「第8回ATP上方番組大賞」でしたが、部門賞27作品、新人賞8作品と例年にも増して多くの番組にエントリーしていただきました。ご参加いただいた各社の皆さまに御礼申し上げます。コロナの影響を受けながらも工夫や粘りで演出された魅力的な番組が揃い、今まで以上に幅広いジャンルの応募を頂きました。どれもが制作者の思いの詰まったものばかりですが、今回はこの時代だからこそ“チャレンジ精神”みなぎる番組を中心に選考いたしました。そして、このような多難な時期に飛躍し、新人賞にエントリーしていただいた若手の皆さまは、まさにテレビ業界の宝です。今回の実績を機に、今後も番組作りの腕を磨いていただけたらと思います。

第8回ATP上方番組大賞審査委員長
河野 純基

■審査委員 (五十音順)

審査委員長

河野 純基 (ダイメディア 代表取締役/ATP理事・関西センター)

審査委員

飯田 真麻 (ジェイワークス プロデューサー)

橘 庸介 (レジスタエックスワン 常務取締役)

平井 直人 (ダイズ 代表取締役)

村上 清身 (羽衣国際大学 現代社会学部 放送・メディア映像学科 教授)

■審査講評執筆者

優秀賞、奨励賞:河野 純基

新人賞 :橘 庸介

■グランプリ・最優秀新人賞投票者

ATP関西会員社

■グランプリ投票参加大学 出版社

ATP関西会員社の他にも、下記の方々に参加いただきました。

大阪芸術大学 松澤 真木 教授 学生の皆さま

関西大学 里見 繁 教授 学生の皆さま

近畿大学 杉浦 徹 教授 学生の皆さま

羽衣国際大学 村上 清身 教授 学生の皆さま

立命館大学 竹村 朋子 准教授 学生の皆さま

和歌山大学 尾久土 正己 教授 学生の皆さま

神戸市外国語大学 山本 昭宏 准教授 学生の皆さま

奈良女子大学 内田 忠賢 教授 学生の皆さま

大阪市立大学 石田 佐恵子 教授 学生の皆さま

甲南大学 西村 順二 教授 学生の皆さま

KADOKAWA 関西ウォーカー 本田 麻己 編集長